

1. 平成30年度二酸化炭素排出量

9,805 t (平成22年度 10,171 t)

《30年度の主な取組み》

1. 大館市環境マネジメントシステムの運用
2. 運営休止を含む施設運営及び利用形態の見直し
3. 公共施設の省エネ診断実施
4. 電気自動車の活用

2. 各項目の使用量・削減状況

No.	項目	H22年度使用量 (A)	排出係数 (B)	二酸化炭素排出量 (C) = (A) × (B)	H30年度使用量 (D)	排出係数 (E)	二酸化炭素排出量 (F) = (D) × (E)	H30対H22 CO2増減 (F) - (C)	主な使用量増減理由
1	ガソリン (ℓ)	78,737.50	2.32	182,671.00	59,673.41	2.32	138,442.31	▲ 44,228.69	保有車両台数の減少 車両入替による省エネ性能向上
2	灯油 (ℓ)	735,750.40	2.49	1,832,018.50	676,713.20	2.49	1,685,015.87	▲ 147,002.63	木質ペレットストーブ、 ボイラー導入による減
3	軽油 (ℓ)	213,435.04	2.58	550,662.40	95,264.90	2.58	245,783.44	▲ 304,878.96	除雪車両の稼働減
4	A重油 (ℓ)	28,645.00	2.71	77,627.95	16,000.00	2.71	43,360.00	▲ 34,267.95	ボイラー燃料の木質ペ レットへの変更
5	プロパンガス (m³)	12,466.50	6.381	79,548.74	8,197.49	5.976	48,988.20	▲ 30,560.54	使用施設の減
6	電気 (kWh)	15,914,789.00	0.468	7,448,121.25	14,671,624.00	0.521	7,643,916.10	195,794.85	施設休廃止、節電意識の 徹底などによる減
H22年度CO2排出量(Kg)				10,170,649.84	H30年度CO2排出量(Kg)		9,805,505.93	▲ 365,143.91	電気に係る排出係数は上 昇したものの、使用量、 排出量ともに削減